



世界に誇る 八丈島の魅力とは



令和8年4月、「八丈島エコツーリズム推進協議会」が発足しました。会員の伊豆諸島自然史研究会の菊池健さんとともに八丈富士に登り、島の魅力やエコツーリズムについてのお話を伺いました。

八丈島エコツーリズム推進協議会
菊池 健さん

Q1.伊豆諸島自然史研究会とはどんな活動を行っている団体ですか？

伊豆諸島の自然史について様々な分野から調査研究を行い、その特質を明らかにしていくとともに、将来にわたってその環境を保全していくための活動を実施しています。活動自体は、八丈小島におけるノヤギ捕獲事業の根拠となる基礎的な植生調査を行った事がきっかけでした。

Q2.八丈島の自然史に関わることになったきっかけを教えてください。

八丈島で生まれ育ち、長年「島に育てられた」という実感を持ちながら花卉園芸やダイビングインストラクターを生業として生活していました。その後、ご縁があり八丈ビジターセンターに解説員として勤務することになり、八丈島が持っている自然や歴史、文化の価値を発信する上で島について様々な知見を更に積み重ねる必要を感じました。

Q3.八丈島が、他地域と比べて特に貴重だと感じる点はどんなところですか？

世界の海洋島の中では比較的他の陸地に近く、他の海洋島と比べて歴史が浅い、とは言え新旧二つの火山で成り立っているところです。

また、黒潮の影響を強く受けており、世界最大の水の流れである黒潮の流路が島を挟んで北側を通ったり南側を通ったりする島は他に無いです。これらの理由により、八丈島では独特の生態系が育まれてきました。

八丈小島で言うと、実は人の生活の歴史そのものがクロアシアホウドリの生態に大きな影響を与えた結果が今表れています。クロアシアホウドリをパイオニアとして、将来はアホウドリの飛来定着も期待出来る中、現状をどう評価し更に何処を目指すのか、八丈島にとって大きな転換点が我々の目の前にあると考えています。

Q4.八丈島の自然の魅力、島の一番好きなのところを教えてください。

島の森はほとんどが二次林(※1)とはいえ、無目的に山の中を歩いていると自分が森と同化したと感じられる瞬間が訪れることがあります。また、晴天の凪いだ海で波打ち際に立っていると、何とも言えない幸福感に包まれるその瞬間が好きです。

あとは6月の末、八丈富士の頂上付近までくると、雲の中でホトトギスが鳴きながら雲の下を飛んでいく、その景色が八丈らしいと感じます。

※1 山火事などにより森林が破壊された跡に、土中に残った種子や植物体の成長などにより成立した森林。

Q5.島民が意外と知らない島の魅力にはどんなものがありますか。

島民が自然の魅力を知らないのではなく、みんなにとって当たり前で特に魅力とは感じないだけです。ちなみにクロアシアホウドリは世界のアホウドリ類の中で最も美形です。(間違い無い！)



八丈富士の火口

Q6.近年、八丈島の自然における変化を感じることはありますか？

平均海水温が上昇し、海の生物相が変化していることですね。(トコブシが食べられなくなった！)

Q7.エコツーリズムとはどのような取り組みだと考えていますか？

自らの行動が環境保全に役立っていると実感できる活動が「エコツーリズム」です。

エコツーリズムとは「保全のために活用」すること。利用者が「自分がこの場所を利用しなくては守れない」というプライドを持つことが大切。目的はあくまで「保全」にあり、その手段として観光や体験があると考えています。

Q8.今後の「八丈島エコツーリズム推進協議会」のありべき姿とは。

できるだけ多様な人々が関わり、八丈島におけるエコツーリズムに関する認識を共有できることが望ましいといえるでしょう。

Q9.島の子供たちに伝えたいこと、メッセージをお願いします。

できれば、私のように「俺ってスゲェとこに住んでるんだな！」と思ってほしいです。まずは体験すること、そしてできれば自分なりに理解することだと思っています。

後記

八丈富士登山は何度か経験していますが、今回一緒に登山をしたことで新たな発見が多く、改めて島の魅力を実感できた貴重な時間となりました。本当にありがとうございました！

島を誇りに思い、その価値を知るためには、体験から生まれる感動や理解が何より大切なのだと感じました。八丈島エコツーリズム推進協議会の発足が、島の未来を変えるきっかけになっていくと信じています。

誌面では伝えきれないお話もたくさんありました。ぜひ一度、島のガイドとともに歩き、八丈島の魅力を再発見してみたいと思います。

そして一人でも多くの方にエコツーリズムへ関心を持って頂き、この取り組みを多くの方と一緒に盛り上げていきたいと思えます。



八丈島エコツーリズム推進協議会

が発足されました

エコツーリズムとは

地域の自然環境や歴史文化を体験し学ぶとともに、それらの保全に責任を持つ観光の在り方のこと。



令和8年4月1日より、「八丈島エコツーリズム推進協議会」が発足されました。今後の活動に関しては、広報はちじょうや各種SNSなどで随時発信してまいります。

問い合わせ 事務局：企画財政課 ☎ 2-1120